

山菜新品種「阿波の銀次郎」「あわ春香」

徳島県では、中山間地域を中心に「タラノメ」「山フキ」などの多様な山菜類が生産されており、市場で高い評価を受けています。

近年、病害虫の発生や生産者の高齢化のため、生産量が減少していることから、これらの生産の拡大や安定を図るため、「タラノキ」では立枯疫病に強い品種、「山フキ」ではフキノトウ専用品種を育成しました。

育成品種の特徴

タラノキ新品種「阿波の銀次郎」

- 徳島在来より立枯疫病耐病性が高い。
- 木はやや開張性で、樹勢は強い。
- ふかし芽は太く、形状に優れている。

農林水産省品種登録第21818号



草姿



ふかし芽

フキノトウ専用品種「あわ春香」

- 開きが遅く、3月以降の出荷が可能。
- 卵型でよく締まり、苞葉が多い。
- 大型で着生数が多い

農林水産省品種登録第21523号



フキノトウの着生状況



フキノトウ

生産者のみなさまへ

「阿波の銀次郎」：立枯疫病の完全な抵抗性品種ではありません。立枯疫病発生地へは植えないでください。総合的防除で発生を未然に防ぎましょう。
「あわ春香」：水はけがよく、保水力のある半日陰が適地です。栽培時には雑草、日焼け、栽培化に伴う病害虫に注意しましょう。性別はメスであるため、結実による混種を避け、形質の維持に努めましょう